

緊急時に備えて

～AED（自動体外式除細動機）講習会～

当JAは3月11日、本店と沿川支店でAEDの使用方法を再確認するための講習会を開きました。地域住民の緊急救援に役立てるため5か所の施設にAEDキットを設置しています。

講習会では、JA職員が実際にAEDキットの操作と心臓マッサージを体験しました。職員は「講習会でAEDキットの操作練習をすることで、緊急時に備えることができる。いつ必要になるかわからないので、誰でも操作できるよう講習会を定期的に行ってほしい」と話しました。



AEDキットを操作する職員

きれいでおいしい「デコもち」作り

～女性営農生活講座～

当JAは3月4日と5日の両日、本店で3月の女性営農生活講座を開きました。約70人が参加し、デコもち作りを行いました。

参加者は、講師を務めたアトリエApricotの梅村里美さんの説明を聞き、食用色素で着色した餅で各パーツを作り、形を整えて八等分に切り分けました。完成したデコもちの断面は桜の木の絵柄となりました。

参加者は「断面がきれいなので食べるのが少しもったいない。家でも作り、子どもたちを喜ばせたい」と話しました。



デコもちを完成させた参加者

徹底した散布防除を

～りんご黒星病・防霜対策本部設置～

当JAは4月7日、佐藤佳克営農購買担当常務を本部長とする「津軽みらい農協りんご黒星病・防霜対策本部」を設置しました。

平年よりりんごの生育が進んでいることから、黒星病と霜による被害が懸念されるため、生産者へ発生予察と防除の徹底、対策についての情報提供をすることを目的としています。同日はJA本店で会議が行われ、黒星病や防霜の対策について確認しました。発生時には広報車や有線放送、メールなどを活用して生産者へ情報提供を行います。

佐藤常務は「黒星病と霜の被害はりんごの収量に大きな影響を与える。被害を最小限に抑えるため情報収集をして生産者へ提供し、徹底した散布防除と対策をするよう呼び掛けていく」と話しました。黒星病の飛散と霜が多く見られる4月7日から5月31日までを重点期間とします。



対策本部を設置した佐藤常務(右)と佐藤営農課長(左)